

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ザンビア
2. 案件名	ザンビア国子どもと若者の参加型アクションリサーチによる地域に根差した WASH（水、トイレ、衛生）モデルの共創
3. 事業の背景と必要性	サハラ以南アフリカの都市周縁部においては、人口増加と貧弱な WASH（水、トイレ、衛生）環境により、感染症や低栄養状態に苛まれ、貧困の再生産が続いている。ザンビアにおいても、年間を通して、コレラやチフス、赤痢のアウトブレイクが起こっており、下痢疾患など子どもの健康に悪影響を及ぼしている。しかし、課題改善に向けた介入の多くは地域のリーダーや大人を対象にしたトップダウンかつハードウェアであり、持続可能な解決のためには、ボトムアップの視座から子どもや若者に焦点を当て、大人、そして地域社会へと意識・行動変容に繋げることが必要である。
4. プロジェクト目標	子どもと若者が多様なステークホルダーと協働し、WASH 課題の解決に自律的に取り組むモデルの共創に向けた基盤が確立する。
5. 対象地域	首都ルサカ市チャワマ地区（人口約 188,000 人）
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接受益者：チャワマ地区に暮らす 25 歳未満の子どもと若者 ・間接受益者：チャワマ地区に暮らす地域住民
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象地域の小学校の教育プログラムの中に CHC が導入される 2. 対象地域で優先的に取り組むべき WASH 課題が明らかになる 3. 対象地域で優先課題に対する介入活動計画案が策定される 4. 介入活動計画案の実行、評価、改善のサイクルが確立する <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 関係省庁、教育委員会、学校関係者、保護者等に CHC についての説明会を開催する。 1-2 CYP および DL と議論を通じて対象学校を選定する 1-3 DL ファシリテータおよび教師にトレーニングを実施する 1-4 トレーニングマニュアルおよび CHC 活動全体のマニュアル原案の作成のために、1-3 の受講者との意見交換を継続的に実施する 2-1 対象地域のアセスメント活動（地域住民へのインタビュー、マッピング、関連する二次データの収集等）を行う 2-2 アセスメント結果を取りまとめ、地域別の優先課題をリスト化し、運営委員会の了承を得る 2-3 アセスメント活動のマニュアル作成に取り組む 3-1 子どもたちと DL メンバー、連携ステークホルダーから成る企画チームを結成する 3-2 企画チームによる議論を通じて連携ステークホルダーを選定し、介入活動計画の原案を作成する 3-3 子どもたちによるワークショップや展示会を開催する 3-4 オンラインにて日本の子どもたちや一般市民が参加し、展示会（オンライン）で活動計画原案を共有し、意見交換を行う 3-5 介入活動計画案について CHC 運営委員会の承認を取り付ける

	3-6 介入活動計画案作成のマニュアル作成に取り組む 4-1 CHC 活動の評価ガイドラインを確立する 4-2 評価を通じた介入活動計画の改善プロセスについてのマニュアル作成に取り組む
8. 実施期間	2024 年 1 月～2026 年 12 月（計 3 年）
9. 事業費概算額	9,995 千円
10. 現地カウンターパート	チャワマ・ユース・プロジェクト (Chawama Youth Project/ CYP) ジコランガ (Dziko Langa / DL)
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	北海道大学大学院保健科学研究院人類生態学研究室
2. 活動内容	WASH に関する 6 カ国の国際プロジェクトを主宰し、アジア、アフリカの途上国の地域社会、日本の地方都市において、現地の多様なステークホルダーと協働して課題解決に取り組んでいる。